

心と心が
地域をむすぶ

いみず野

2016

7
July
Vol.191

編集／発行 いみず野農業協同組合 総務課 富山県射水市北野1555-1 TEL 0766(52)0023 FAX 0766(52)5955 平成28年7月1日

URL: <http://www.ja-imizuno.or.jp/>



今月の表紙

平成28年 6月12日(日)

JA富山県女性組織協議会
ママさん大学

(JAいみず野女性部 38名
大井川鉄道SL乗車体験と館山寺温泉の旅)



6月9日(木)JAいみず野営農管理センターで、大麦収穫後の農地利用率を上げることを目標にした研修会が射水市農業技術者協議会の主催で開催されました。

J Aいみず野の28年度大麦面積は557haで、あと作の利用は4割程度と県平均より低く、てんたかくJAいみず野の斑点米の発生にもつながっています。また、栽培面では排水不良により低収となっています。

こうしたことから、この研修会が開催され、大麦あと野菜などの導入による収益確保と大麦生産安定に向

けた排水対策関連機械が紹介されました。推奨する作物では主にえだまめ・キャベツ・ブロッコリーが紹介されました。

枝豆の導入によるメリットでは、収穫時期が7月上旬から8月中旬(ハウス促成栽培の場合6月)なので、水稻の収穫作業との競合がなく主穀作経営複合化品目に適します。また麦跡圃場においての作付が可能であり、各経営体の労力に見合った作型・面積から取り組が可能です。また、枝豆栽培のポイントの多くは大豆栽培と共通することから、主穀作営農組織等が今まで培った大豆栽培技術を活かせる品目です。

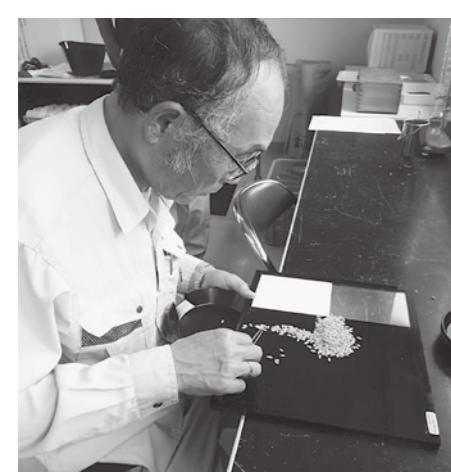
キャベツの導入によるメリットでは、「秋まき春どり」、「春まき初夏どり」と、経営体の作業スケジュールに合わせた形で導入できます。またトラクター・管理ビーグルなどの既存の大型機械が活用できます。既存の大型機械が活用できます。ほかにも学校給食などへの供給があり、安定した需要が見込めます。

ブロッコリーの導入によるメリットには、収穫時期は10月上旬から12月上旬なので、水稻の収穫作業との

作業競合が少なく、主穀作経営の複合化品目に適しています。また、キャベツと同じくトラクター・管理ビーグルなどの既存の大型機械が活用できます。市場との契約販売にも取り組んでおり、コンテナ出荷による出荷コストの削減が可能です。

各々の野菜のメリットを生かすことで限られた土地で2回作付することにより売り上げの向上につながると説明されました。研修に参加された関係者・参加者も真剣に聞き入っておりました。

また、研修に先駆けて水田中干し場排水作業の実演も行われました。



6月14日(火)平成28年産大麦の初検査が新湊カントリーエレベーターにて行なわれました。今回検査を受けたのは、5月25日(水)から収穫されたファイバースノウ152トンで、全量が買入されました。

今年度産大麦の品質は、容積重は前年よりやや軽く、千粒重は前年並みと年の結果でした。

また、粒形・光沢は前年並み、充実度は前年よりやや劣り、被覆粒の混入、硬質粒は見られないことから品質も総合的に昨年並みとなりました。

収量について穂数は前年よりやや多くつたが、平年並みと見込まれます。

大麦あと活用・排水対策研修会の開催



大麦初検査

斑点米カメムシが多発しています！ 雑草管理・防除の徹底と出穂後20日間の湛水管理で 「美味しいJAいみず野産米」に仕上げましょう！

稻の生育状況は6月27日の調査では「てんたかく」の生育は近年より4日早く、出穂期は7月19日頃と見込まれます。平年に比べ、草丈はやや長く、茎数はやや少なく、葉色は並くなっています。「コシヒカリ」の生育は平年より2日程度早くなっています。

病害虫ではカメムシ類が近年で最も多く発生しています。特に大麦跡未処理場で発生頭数が多くなっていることから(1)カメムシの生息地となる雑草地の草刈りの徹底(2)大麦跡ほ場の対策①えだまめや緑肥作物(クロタラリア)の作付②野菜やソバの作付予定田:モア等による除草③耕起、非選択性除草剤の散布、モア等による除草を徹底しましょう。

今後の気象情報や稻作情報に注意して「美味しいJAいみず野産米」に仕上げましょう。

(1) 雜草管理・防除の徹底

今年も斑点米カメムシが多発しており、斑点米による品質低下の懼れがあることから水田周辺の雑草管理をしっかりと行い、ほ場内への侵入を防ぎましょう。併せて基本防除は必ず2回(随時防除の場合は3回)散布しましょう。

定期的には場を巡回し、いもち病や紋枯病が出ていないかも確認しましょう。

(2) 水管理

●出穂期の水管理

幼穂形成期から出穂期までは「間断かん水」を励行しましょう。出穂期から20日間は稻体の活力維持・カドミウムの吸収抑制のため、湛水管理(水は2~3cm、田面を露

出しない状態を保つ)とし、その後収穫の5日~7日前までは間断かん水を行なう。

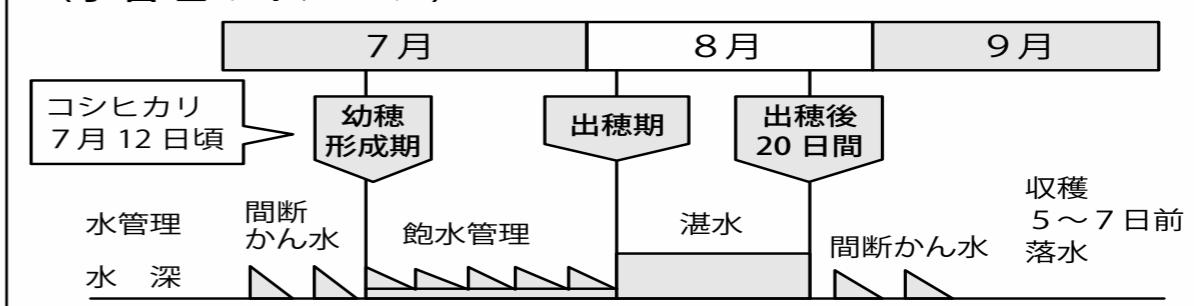
●フェーン時の水管理

フェーン現象や台風の時は、稻の葉面から急激に水分が蒸発し、根からの水分吸収とのバランスが崩れ、根を傷めるおそれがあります。天候に注意し、フェーン現象や台風が予想されるときは、圃場に十分灌水し、通過後は速やかに落水しましょう。

●適期の落水

登熟期になると水分の要求度もやや減りますが、落水が早すぎると立毛中の胴割れの発生が危惧されます。秋の収穫作業に影響しない範囲で収穫の5日~7日までは、間断かん水を行ないましょう。

〈水管理のイメージ〉コシヒカリの場合





表彰式&成績表

Congratulations! Congratulations! Congratulations!



佐伯鉄善さん (優勝) 藤塚 博さん (3位) 寺井國雄さん(写真代理) (2位)
井戸美千代さん (2位) 本江まち子さん (優勝) 沢辺すま子さん (3位)

順位	男子の部	支店	ネット
優勝	佐伯 鉄善	小杉	91
2位	寺井 國雄	三島野	95
3位	藤塚 博	太閤山	96

順位	女子の部	支店	ネット
優勝	本江 まち子	太閤山	97
2位	井戸 美千代	太閤山	100
3位	沢辺 すま子	太閤山	103



閉会式

J Aいみず野 田邊 康弘 代表監事

第24回 年金友の会

パークゴルフ大会

6月17日(金)に、南郷パークゴルフ場にて好天の下『第24回いみず野農協年金友の会パークゴルフ大会』が開催されました。

この大会はいみず野農協の年金友の会会員の方々が、パークゴルフを通じて友好の場を広げるとともに、健康の増進と会員相互の親睦を図ることを目的としており、回を重ねるごとに参加者が増え、今大会は247名と多数の会員方々に参加頂きました。

開会式では、いみず野農協年金友の会連絡協議会の清水 久信副会長による開会宣言の後、去年10月に行われた第23回大会の優勝杯が返還され、いみず野農協年金友の会連絡協議会の坪田 孝一会長と当農協の水元 瞳雄組合長による挨拶がありました。開会式が終わるとそれぞれのスタートホールへ移動し、熱い戦いの火ぶたが切って落とされました。

参加者は協議が始まると真剣な表情でボールを打ち、打つたびに歓声を上げたりため息を漏らしたりと、とても楽しまれているようでした。

4コースを通した熱戦の末、男子の部では佐伯 鉄善さんが91と素晴らしいスコアで優勝を勝ち取られました。女子の部では本江 まち子さんが97で見事に優勝されました。

今回、お客様感謝イベントとして坂本冬美コンサートが開催されるにあたり、特別賞として篠田 昌二さんと横山行男さんにコンサートチケットが贈呈されました。また、米寿以上の年齢の参加者5名へのお祝いの表彰もありました。

閉会式では、田邊 康弘代表監事による閉会宣言で、大会が締めくされました。



開会のあいさつ
JAいみず野 年金友の会連絡協議会 坪田 孝一会長



開会のあいさつ
JAいみず野 水元 瞳雄組合長

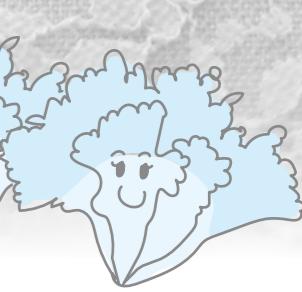


開会宣言
JAいみず野 年金友の会連絡協議会 清水 久信副会長



いみず野だより 4

農事組合法人あしつきの郷 水耕栽培リーフレタス本格出荷



葉が緑色の「グリーンリーフ」、苦味がやや少ない「レッドリーフ」、肉厚がありシャキシャキとした「フリルレタス」、そして7月からは「サンチュ」も出荷されます。

出荷されたリーフレタスは県内の市場やスーパー、JAいみず野直売所菜ちゃんでの販売の他、学校給食や介護施設などにも納入予定です。



射水市広上（南郷支店管内）の農事組合法人あしつきの郷（高橋隆之代表理事）で今年から、県内の営農組合で初めて水耕栽培のリーフレタスの出荷を迎えました。県の「とやま型農業成長戦略チャレンジ支援事業」を活用し、今年3月から生産を始めました。5月中旬からJAいみず野直売所等で試験販売を行なった後、6月16日に本格出荷を開始しました。安定生産の仕組みや販路を確立し、農家の冬場の雇用創出や所得増加につなげます。

防虫や温度調節の機能を備えた約330平方メートルのビニールハウスで、種まきから収穫まで無農薬で育てます。太陽を浴びたリーフレタスは青々とやわらかい葉がビニールハウスいっぱいに茂っていました。レタスは生で食べることが多いので、安全安心なおいしいレタスを届けよう取り組んでいます。



J Aいみず野本店において6月4日(土)、5日(日)の2日間、ふれあい総合展示会が行われました。今回の展示会は、家電、宝飾、自動車、仏壇・墓石などライフイベントに合った様々な商品を一堂に取り揃えました。会場では特に家電コーナーに人気が集まり、目玉商品の4Kテレビや夏に向けてのお買い得エアコンなど、お目当ての商品の特徴や使い方をJA担当者やメーカー担当者から説明を受ける姿が見られました。

本店前駐車場では新車、中古車がぎらりと並び、人気のファミリーカーなどを品定めます。

また、別棟の本店第2事務所ではジュエリーや浴衣、鞄が展示され、女性客の目を輝かせました。

倉庫では仏壇、墓石、ガス器具の展示があり、広い会場の中でしたが大勢の来場者に足を運んでいただきました。

当日ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。ぜひ次回もお待ちしております。

ふれあい総合展示会開催

●JA女性部リーダー研修会 に参加して

あり、女性部活動への協力・会員同士の親睦ほか意志高揚の気運へ繋がった研修だったと思います。

（黒河支部）

6月4日(土)JAとなみ野本店大ホールに於いて、県内11JA女性部から67人が参加し、JA女性部リーダー研修会が開催され、交流・研修が行われました。

開会式後の講演会は、「『たまねぎ』の一大産地化に取り組んで」という演題で、JAとなみ野土田英雄氏より、砺波と言えば「たまねぎ」と言われる程の産地となつた8年間の大変な取り組みや生産に適した砺波平野の説明、生産者へのJAとなみ野の援助協力等、1時間に及ぶ熱心なお話を聞きました。

その後、JAとなみ野の女性部の方の活動報告を聞き、また「もっと楽しく！地域を元気に！みんなで学ぼうJA女性組織」について冊子を見ながら学びました。

お楽しみ昼食！「となみ野弁当」です。県内、砺波が満載のこだわりのお弁当でした。懐かしい「ゆべす」「よじし」で話が弾みました。午後からは、女性部でやりたい

私としては、この日の研修を終えてJA女性部の事が少し理解できましたような気がします。他のJA女性部の方と気軽に会話が出来た事も、とても良い経験でした。この研修会に参加して、皆さんが楽しく気軽に活動、参加できるようなJA女性部になれるよう努力したいと思いました。（小杉支部）

北陸地方の梅雨入り間近い日、第53回JA県女性協「ママさん大学」研修旅行へ各支部から175名が参加、5台のバスに分乗し高速ひた走り、一路楽しみにしていました。新金谷駅から千頭駅まで約1時間39.5km普段懐かしい煙を吐いて走る「汽車」では煙の臭いを懐かしみ、ワイワイガヤガヤ



2日目、浜名湖の眺望を楽しみ、うなぎパイファクトリー、工場見学、フラワーパーク見学、そして蒲郡オレンジパークの見学、「メロハウスでの摘み取り体験」で各人1個をいただき感嘆の声声。さらに、しらす、加工販売のヤマサイで1合升に詰め放題体験し、えびせん共和国、あまりにも多い数々のせんべいに迷い、見学と買い物をしました。今回の「体験」と見学に皆さん「よかつたあ～」の声がり1日目終了です。



●「ママ大旅行」へ参加して



北陸地方の梅雨入り間近い日、第53回JA県女性協「ママさん大学」研修旅行へ各支部から175名が参加、5台のバスに分乗し高速ひた走り、一路楽しみにしていました。新金谷駅から千頭駅まで約1時間39.5km普段懐かしい煙を吐いて走る「汽車」では煙の臭いを懐かしみ、ワイワイガヤガヤ

今後の日程
7月19日(火) 助け合い定例会
20日(水)~22日(金) 酒の講習会
27日(水) ほつとサロソ(堀岡)
8月5日(金) チャギりん大会
10日(木) フラーレンジマイト教室
20日(木) 健康教室
21日(金) フレッシュミス
26日(木) チャレンジ農業体験
手芸教室

